

来園者10万人達成



尾浜こども公園

尾浜こども公園は2月16日、来園者10万人を達成しました。同園は、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受けた尾浜地区に、復興のシンボルとなる施設として市が整備し、令和2年10月16日に開園。当日は、同施設を管理する特定非営利活動法人原金尾浜ワンパークの熊谷秀治理事長が、10万人目の来園者である野添奏さん（中野）に記念品を手渡しました。

全国大会で入賞

明るい選挙啓発ポスターコンクール

市芸術文化奨励金交付式は2月22日、市役所で行われました。

訪れたのは、令和3年度明るい選挙啓発ポスターコンクールの全国大会にあたる中央審査で「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞（全国2位相当）」を受賞した青田美沙葵さん（中一小5年）。

報告を受けた福地憲司教育長は「これからも選挙に関心

市子育て・教育環境充実
プロジェクトを支援
あぶくま信用金庫

あぶくま信用金庫による寄付は2月22日、市役所で行われ、太田福裕理事長が立谷市長に目録を手渡しました。

寄付は、同信用金庫の社会貢献活動の一環として、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用し、市が一般社団法人エル・システマジャパンとともに事業を展開している市子育て・教育環境充実プロジェクトに賛同して行うもの。

立谷市長は「ありがとうございます。子どもたちのため大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

住宅用火災報知器設置状況を調査

市女性消防隊

災害防啓発用品などを手渡しました。

市女性消防隊は2月6日、住宅用火災報知器設置状況のアンケート調査を行いました。住宅への火災報知器の設置が義務付けられ、設置後10年で機器の交換が推奨されていることから、アンケート調査による啓蒙を目的に実施。

女性消防隊は各家庭を訪問し「住宅用火災報知器設置は、火災の早期発見につながり、いち早い消火と避難につながります。必ず設置、点検をしてください」と呼びかけ、火

迅速な初期消火活動で延焼防止

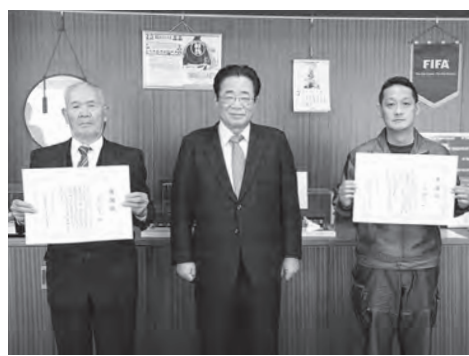
感謝状贈呈式

初期消火活動協力に関する感謝状贈呈式は2月16日、市

役所で行われ、三瓶建明さん（新沼）と吉田直喜さん（椎木）が訪れました。

同感謝状は、1月25日に椎木地内で建物火災が発生した際、発見者の三瓶さんが近所に住む吉田さんと協力して初期消火活動を行ったことをたたえるもの。

式で、立谷市長は「二人の俊敏な行動で延焼防止が図られたことに感謝申し上げます」と述べ、感謝状を手渡しました。



震災から11年 市東日本大震災追悼式

東日本大震災の発生から11年を迎えた3月11日、市民会館で犠牲者を悼む相馬市東日本大震災追悼式が開催されました。

市が主催し、遺族ら約200



人が参列。

震災後に子どもたちの生きる力を育む事業として始まったエル・システマ子ども音楽祭の映像を鑑賞した後、震災の犠牲者を悼み黙とうをささげました。

式で、立谷市長は「震災の災禍と教訓、多くの命を守ってくれた英霊、お寄せいただいた心温まる支援を忘れることなく、後世に語り継いでいきます」と式辞を述べ、石橋浩人市会議長が追悼の辞を述べました。

遺族を代表し佐藤優瞳稀さ



んが震災からの11年を回想し「津波が来るから早く小学校に避難しなさい。パパも後から行くからと言い残し、消防団の活動に向かった父は津波で亡くなりました。父親代わりとなり育ててくれた祖父が木工として復興に貢献している姿に影響を受け、私も建築を学ぶことを選びました。あの日のことを忘れず、今まで支えていただいた恩を返せる立派な大人になりたいです」と犠牲になった御霊に語りかけました。

震災の教訓を忘れない

磯部中学校慰霊式

磯部中学校慰霊式は3月10日、同中学校で行われ、生徒や同窓会、PTAなどが参加しました。

東日本大震災で犠牲となった方へ追悼の意をささげること、地域で起きた災害の記憶をとどめ、後世に伝承することを目的に開催。

同中学校内の慰霊碑前で黙とうをささげ、献花を行った後、蛭原里桜さんが「震災の教訓を忘れず、自分の身を守り、仲間と共にほかの人の命

生きる努力を続けることを誓う

磯部小学校防災の集い

磯部小学校防災の集いは3月11日、同小学校慰霊碑前行われ、児童23人を含め学校



を助けていきたい」と復興への誓いを述べました。



関係者約40人が参加しました。同式は、東日本大震災で犠牲になった同小学校児童らの追悼とともに、防災の誓いを新たにすることを目的に開催。永井崇同小学校校長の式辞などに続いて献花が行われ、寺島志桜さんが「私たちは犠牲になった方々に代わって生きる努力を続けることを誓います。自分たちの命を守るため、防災教育にしっかり臨みます」と復興への誓いを述べました。

木の葉の舟に復興の思いを乗せて

じろはったんと遊ぶ会

東日本大震災復興と鎮魂の集いは3月11日、伝承鎮魂祈念館前の海岸で行われ、地元住民ら約100人が木の葉の舟を流し、祈りをささげました。同イベントは今年で10回目。

木の葉の舟は、泰山木（タイサンボク）の葉に亡くなった人へのメッセージや、復興への思いなどを記したもので、兵庫県「森はな顕彰会」や県内外の小学校などから約1万枚が集まりました。

参加者は14時46分に黙とう



宇多川にサケの稚魚を放流 山上小

サケ稚魚の放流会は2月24日、宇多川河川敷で行われ、



山上小学校の児童ら23人が参加しました。

宇多川に遡上するサケの資源増殖を図るとともに、子どもたちの川や海の水環境を大切にす

る増殖活動に関心を持つってもらうことを目的に、県水産事務所が主催。

家庭での活用を期待

学校給食おすすめレシピ集完成報告

学校給食おすすめレシピ集の完成報告は2月18日、市役所で行われ、丹有希乃市教育研究会栄養職員部会部会長らが訪れました。

レシピ集は、子どもたちに食への理解と関心を持たせ、地域の貴重な食文化を継承することを目的に、学校給食で提供している人気のメニューや地場産物を活用したメニューをまとめたもので、市教育委員会初の取り組み。

報告を受けた福地憲司教育長は、家庭でのレシピ集の活用に期待を寄せました。



食への関心を高める 食育標語表彰式

「親子で考えよう！食育標語」表彰式は2月18日、市役所で行われました。



同取り組みは、保護者と子どもが一緒に考えて食について考え、家族で食に対する興味・関心を高めることなどを目的に実施。

福地憲司教育長が受賞者2人に表彰状を手渡しました。

●受賞者（敬称略）

▽最優秀賞Ⅱ 島蒼依（桜丘小）「きょうのできごとふりかえり かぞくでかこむしあわせごはん」

▽最優秀賞Ⅱ 加藤慶悟（中一中）「見てまねて 作るも出せぬ 祖母の味」

生き抜く力を培う指導方法を研究

市教育研究会

令和3年度相馬市教職員研究作品展表彰式は2月14日、市民会館で開催されました。

市内の幼稚園、小学校、中学校の教職員が子どもたちの生き抜く力を培う教育の充実・進展を図るために、日ごろ実践・研究してきた成果を作品としてまとめ、各校での教育活動の改善・充実につなげることを目的に、毎年度継続して開催。

出品作品は市内小・中学校



全国大会での活躍を願う

スポーツ大会出場報告

スポーツ大会出場報告は3月8日、市役所で行われ、全



国大会に出場する米澤舞（中二中1年）選手が訪れました。米澤選手は、令和3年11月23日開催の福島県少年空手道選手権大会で優勝し、令和3年度JOCジュニアオリンピックカップ文部科学大臣旗争奪未来くん杯第16回全国中学生空手道選抜大会に出場。報告を受けた立谷市長は、「けがに気を付けてがんばってきてください」と激励し、米澤選手に奨励金を手渡ししました。

継続した自衛隊入隊に感謝

東北方面総監感謝状伝達式

陸上自衛隊東北方面総監感謝状伝達式は2月28日、市役所で行われ、佐藤由則自衛隊福島地方協力本部副本部長と永井啓行同相双地域事務所長が訪れました。

伝達式は、本市出身者が複数年にわたり自衛隊に入隊していることに對し、本市に感謝状を交付するもの。

式で、佐藤副本部長から阿

部勝弘副市長に感謝状が手渡されました。



市内小学校に本を寄贈梁川ざつと昔の会



市内小学校への本の寄贈は2月28日、市役所で行われ、昔話を語り継ぐ市民団体「梁川ざつと昔の会」の藤東ヨシさんが訪れました。

寄贈された本は、同会の横山幸子元会長が新聞に連載した約200話の昔話を「お話しおぼさんの『昔むかしのない』を語りつぐ」として1冊にまとめたもの。

藤東さんは「横山元会長の自宅が台風で被災し、貴重な資料が流出したため、新聞の切り抜きを基に本を作りました。子どもたちに読んでほしいです」と話し、福地憲司教育長に本を手渡しました。

子どもたちの努力をたたえる

市学力調査成績優秀者表彰式

市学力調査成績優秀者表彰式は2月26日、市役所で行われ、市内中学生各学年総合成績10位までの生徒たちが出席しました。

市学力調査は、子どもたちの学力の実態を把握し、調査結果を個別指導に活用することで、子どもたちの学力向上を図ることを目的に、市教育委員会が市内全小・中学校で実施。

福地憲司教育長は入賞者一人一人に表彰状を手渡し、子



どもたちの努力をたたえました。

子どもたちの安全を願って黄色い旗などを寄贈交通安全母の会



交通安全母の会による寄贈は3月9日、市役所で行われ、菅野裕子元会長が訪れました。同会は、昭和45年に結成され、交通道德の向上と交通事故防止を目的に活動が続けられました。会員の担い手不足などにより閉会。

閉会に伴う余剰金を今後の交通安全に役立ててもらおうと、黄色い旗、赤色信号灯、メッシュベストを市内各小学校に寄贈しました。